

【内部事務連絡】

田中昌史氏の政治活動への支援について  
～その経緯と協会の考え方～

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会長 中村 春基  
日本作業療法士連盟  
会長 杉原 素子

掲題の件について、過日、協会員の皆さまに向けて後援会名簿等への記入依頼に対するご協力をお願いしたところですが、会員の方々や他団体からも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。深く感謝申し上げます。

そのご意見を踏まえて、改めて、その経緯概要と協会の考え方についてご説明させていただきます。

**I 経緯について（概要）**

今春、（公社）日本理学療法士協会ならびに日本理学療法士連盟から、（公社）日本理学療法士協会理事であり自由民主党東京都参議院比例区第36支部・支部長の田中昌史（たなかまさし）氏の政治活動の支援に対する依頼がありました。

協会はそれを受けて田中氏とは、何度も話し合いを持ち、その政策理念等の議論を重ねた結果、田中氏の政治活動の支援を協会、日本作業療法士連盟、（公社）日本理学療法士協会、日本理学療法士連盟の4者が一体となって行う方向性を確認しました。

このような経緯を経て、協会は平成30年8月18日（土）第3回理事会において、日本作業療法士連盟と協力し、（公社）日本理学療法士協会理事であり自由民主党東京都参議院比例区第36支部・支部長の田中昌史（たなかまさし）氏の政治活動の支援を行うことが承認されました。

平成30年10月1日には田中氏と日本作業療法士連盟との間で「作業療法士が専門性を発揮できる制度作りと職域拡大を目指すこと」に合意し正式に政策協定書が取り交わされています。

これらの経緯を経て、過日、協会員の皆さまに向けて後援会名簿等への記入依頼に対するご協力をお願いした次第です。

田中氏は「リハビリテーションで創る住みよい社会へ全力」というスローガンのもと、目指すものとして、以下6項目を挙げております。

- ① 健康づくりや病気・障害の予防を推進して、国民の活力ある日常生活を守ります。
- ② 高品質な医療・介護サービスがお住いの地域で受けられる制度を整備します。
- ③ 年齢や性別、障害の有無にかかわらず、働きたい人が働ける社会を目指します。
- ④ 学童期からの健康教育を進め、子どもが健康的に成長できる環境の整備を目指します。
- ⑤ 子どもを産み育てやすく、女性が安心して就労できる社会を目指します。
- ⑥ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの役割を拡大して、処遇や待遇の向上を目指します。

## II 協会の考え方について

協会の使命は、乳児から高齢者まで、障害の有無にかかわらず、その人たちの生活を支援するために医療・介護・福祉・教育等の様々な分野での生活支援の体制づくりに寄与することによって、2018年協会定義にもあるように作業療法を必要とする人々の健康と幸福を促進して行くことです。

そのために協会は、作業療法（士）の更なる活用と質の向上を目指して、「理学療法士及び作業療法士法」の見直し、資格の更新制度の創設、教育年限の見直し、などの政策提言を様々な場で表明してきたところですが、その実現の為には、協会の考え方を国政の場に直接届ける手立ても必要であると考えています。

それ故、協会の理念、政策課題を共有し、国政の場でその実現に向けて具体的に精力的に取り組んでいただける方を応援したいと考えています。ただし、議員の場合は他の施策立案にもかかわるわけですから、作業療法士だけに利すれば良いというものではなく、他の施策への姿勢も注視していく必要があると考えております。

政治に関しては様々な考えもあり多種多様な理念があることも現実です。ご承知のように、与党以外の党に所属する作業療法士の議員も誕生しており、そのかたとの協働も進めていきます。

以上のように、協会の理念、課題、これまでの取り組み、政治を取り巻く環境などを考慮し、協会の考えをご理解いただき、より良い体制づくりを目指して政治活動をおこなっている方への応援は、党派を超えて協会として積極的に行っていきたいと考えています。

## III 作業療法士専用の名簿について

今回、「田中氏の政治活動を支援する」という位置づけとして、「作業療法士専用の名簿」の作成が必要になりますが、後援会名簿への記載は政治活動の支援ということになり、選挙活動ではありません。

つきましては、協会、作業療法士連盟として田中氏の活動を支えることに、ご理解いただき、ご協力いただけますと幸いです。何卒よろしく願いいたします。

以 上